

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	泉佐野市立児童発達支援センター		
○保護者評価実施期間	令和8年2月2日		～ 令和8年2月13日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	17	(回答者数) 14
○従業者評価実施期間	令和8年2月2日		～ 令和8年2月13日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○訪問先施設評価実施期間	令和8年2月2日		～ 令和8年2月13日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	13	(回答者数) 13
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月3日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・センター内に公認心理師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、看護師等の専門職を配置しており、また、相談支援事業所と併設もしていることから、保護者・こどものニーズに対して、必要な支援内容の検討・提供について連携を図っています。	・対応困難なケースについては、担当者だけでなくセンター内の専門職等と連携しながら、丁寧な支援ができるよう心がけています。	・引き続き、多職種との連携を意識しながら支援の幅を広げていきます。
2	・市内で関わっているこども、保護者、支援者のニーズや現状に対応できるような内容の研修会を企画、実施しています。	・市内の指定特定相談支援・指定障害児相談支援事業所及び障害児通所支援事業所・認定こども園・保育園・幼稚園・小中学校・支援学校等職員に児童発達支援センター主催研修会の案内ができることを意識して取り組んでいます。	・研修で受けた内容を保育所等訪問支援で活かすことができるよう、必要に応じて研修内容を訪問員同士と一緒に振り返ったり、こどもの姿と照らし合わせ伝えることで、訪問先の支援者との共通理解を深めていけるようにしています。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・保育所等訪問支援事業のニーズが増えてきている中、訪問員が複数の業務と兼務しているため、緊急時の対応や日程変更があった時には、日程調整が困難になることがあります。	・保育所等訪問支援事業担当者が複数の業務との兼務をしているため、緊急時の訪問先への連絡や、訪問日程の振替等の調整が必要な際に、迅速に対応できるよう考えていく必要があります。	・引き続き、担当者間での情報共有は丁寧に行いながら、緊急時には担当者でなくても対応していけるようにしていきます。
2			
3			